瑞穂中学校だより

【学校教育目標：ふるさとを愛し
心身ともにたくましく 主体的に学ぶ生徒の育成】

令和5年4月10日（月） NO.1 文責：校長 柏原 哲郎
HP アドレス https://www.unzen.ed.jp/mizuhochu

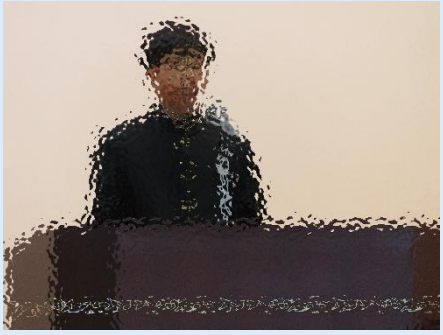
令和5年度がスタートしました

先日の4／7（金）に、令和5年度第1学期始業式を行いました。始業式の前に、新しい3名の先生方の着任式を行いました。着任されたのは下記の先生方です。

教 諭 月川 優 （新規採用：理科） 教諭 木村 正弘 （再任用短時間：理科）
講 師 吉武 泰雅 （数学）

本年度、本校の教育活動に関わる教職員は全部で22名となります。これまで同様に教職員が一丸となり、瑞穂中学校の生徒たちのために頑張っていきます。保護者・地域の皆様方には、引き続き本校の教育活動にご理解とご支援をいただきますようお願いします。

さて、始業式では2年代表：峯 貴雄仁さん、3年代表：松坂 愛心さんがこの1年間で頑張りたいことや目標を発表してくれました。紹介します。



「2年生で頑張りたいこと」 2年 峯 貴雄仁

僕は2年生で頑張りたいことが3つあります。1つ目は、部活動です。新しく1年生が入ってきます。2年生では手本になれるように頑張りたいです。しかし、今年入ってくるサッカー部の新1年生はとても上手な人がたくさんいます。新1年生に負けないように、自主練習や日々の努力を積み重ねていき、次の中総体で活躍したいです。2つ目は、中学校で新1年生の良いお手本になることです。2年生になって1年生の先輩になります。自分は、生徒会の一員なので、生徒会の人たちや2年生と一緒に、新1年生を手伝ったり、サポートしたりして、新1年生が困らないように頑張りたいです。そして、僕は生徒会として、いろんなことにチャレンジしていきたいです。3つ目は、勉強です。みなさん、勉強とは何のためにするのでしょうか。なぜ勉強をしなければならないのでしょうか。それは、勉強することで、多くの知識や能力が高まるからです。言語力、計算能力、思考力、理解力、発想力、表現力など、様々なことを身に付けるためには勉強は欠かせません。3年生になると受験生になるので2年生ではその準備をしておく必要があるからです。1年生の時では、あまり良い点数が取れなかった人もいるかも知れません。自分も、もっともっと勉強して、自分が苦手な教科も克服していきたいです。以上、3つを意識して将来のためにも頑張っていきたいと思います。

「3年生での目標」 3年 松坂 愛心

私が3年生になって、そして最高学年として頑張りたいことは3つあります。1つ目は、勉強です。私たちは今年から受験生になります。受験は個人戦でもあり団体戦です。なので、毎日コツコツ勉強して自分たちが行きたい第1志望の高校に行けるように頑張りたいです。2つ目は、部活です。4月になり、今のチームで試合ができる回数も少なくなってきま

した。そんな限られた試合数の中で、瑞穂中学校の代表としてしっかり結果を残せるように頑張ります。そして、中総体では、全部活動が県大会に出場できるようにチーム一丸となって頑張っていきたいです。3つ目は、学校行事です。私たちは全ての行事が今年でラストになります。その1つ1つの行事を全力で楽しみながら3年生全員で盛り上げていきたいと思います。瑞穂中学校の生徒全員が超一流の生徒になれるように、まずは3年生41名全員が下級生を引っ張り、手本となるような行動をしていきたいです。また、1年間はあっという間に過ぎていくので、1日1日を大切にしながら過ごしていきたいです。

学年代表の発表に先立ち、校長からは次のような話（概略）をしました。

「・・・今日は新年度のスタートだから、みなさん一人一人が「さあ、今日から頑張るぞ。」という前向きな気持ちでいることだと思います。その気持ちをいかに強く、長く維持できるかが成長のカギだと思います。しかし、頑張って努力しても中々うまくいかないことも多いでしょう。そんな時、みなさんはどうしますか。うまくいかなかった言い訳をしたりしませんか。ある人がこう言いました。「言い訳は成長を止める。」と。これから先、何かうまくいかないときには、言い訳をしてそこで終わらせるのではなく、「なにくそ」と言う気持ちで、もう少し頑張ってみたらどうでしょう。その、もう少しの頑張りがみなさんの成長にきっとつながると思います。

・・・昨年度の生徒会の努力目標であり、めざす生徒像をキーワードで示した「気合いと愛と夢」を意識した学校生活を送ってください。そして、コロナ禍で遠慮していた、元気なあいさつを心がけてください。「あいさつは反射神経」です。人に会ったらすぐに自分からあいさつができる人になりましょう。最後に、来週には1年生が入学します。手本となる憧れの先輩になってください。そのためにも自分を磨く努力をしてください。この4つのことをみなさんが意識して実践すれば、みなさんのこの1年間の成長は素晴らしいものになると確信しています。頑張ってください。期待しています。」

峯さんと松坂さんの発表の中にも「手本となる」という言葉があります。相通じるものがあり、嬉しく思いました。個人的には、良い学校の条件の1つは「手本になる先輩がいる学校」と考えています。それを意識している生徒が確実に2人はいるということです。実際はもっと多くの生徒が同じ思いだと確信しています。その思いが1つとなり、さらにこの瑞穂中学校が良い学校へと進化していくものだと期待するとともに、楽しみにしています。3年生は始業式後、最初の学年集会を開き、超一流についてみんなで確認し、学年主任の酒井教諭の音頭で力強く学年スタートをきりました。

今年1年、頑張ろう！
オー！

コロナ対応について

新型コロナウイルス感染症の4月1日以降の新学期からのマスク着用の考え方については「学校教育活動の実施に当たってはマスクの着用を求めないことを基本とする」という方針に沿って本校でも進めていきたいと考えています。このことについては、始業式の中で、「学校においてはマスクをしなくても良いです。ただ、マスクの着用については、感染の不安等による本人及び保護者の思いを尊重します。そして、マスクを着けている、着けていないことでその人を責めたり、嫌な思いをさせないようにしよう。」という話をしました。また、本校では方針に沿って教職員も個々の判断でマスクを外しています。我々が率先して外すことで、外したいけどなかなか外せない生徒の後押しができればと考えています。3年生の数名の女子に尋ねたところ、マスクを外せない一番の理由はやはり恥ずかしいという思いがあるようです。脱マスクまではもう少し時間を要するかもしれません。ただ、**本人及び同居家族等の発熱等の症状がみられる場合の対応はこれまでと同じ**になります。引き続き、各ご家庭にも協力をいただくことになります。よろしくお願いします。また、5類引き下げ予定の5／8以降の対応については後日連絡します。